

# ワコール新京都ビル Wacoal Shin-Kyoto Building

## 建物概要-Building summary

建物名称:ワコール新京都ビル  
所在地:京都市京都市南区西九条  
建物用途:事務所, 展示場  
敷地面積:2,908.81㎡  
建築面積:2,036.34㎡  
延床面積:15742.54㎡  
構造規模:S+RC造, 地下1F 地上7F 塔屋1階  
建築主:株式会社 ワコールホールディングス  
総合監理:株式会社ユウ・コーポレーション  
設計監理:飛鳥建設株式会社 一級建築士事務所  
施工:飛鳥建設株式会社 大阪支店



## コンセプト-concept

女性の「美しくなりたい」という想いに応える商品やサービスを提供されている株式会社ワコール様(本社・京都市南区)の新営業拠点である「ワコール新京都ビル」は2016年7月に竣工した。  
「風に揺らぐ絹」をデザインコンセプトに、風に揺らぐ絹を纏った様子を反復のリズムとして外観のフィンや演出照明「光のペール」で表現した。清潔感ある白と透明感を基調とした外観や演出照明は、建物周囲の竹や三和土とともに古都の景観に彩りを添える。

## 演出照明-Direction illumination

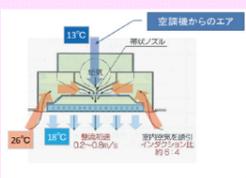
カーテンウォールの下部に調光・調色型LED照明を設置し、ロールスクリーンに照射して建物を光のペールで包む。  
「絹のような白-silky white」の光のペールを纏った建物は、毎時00分には企業のイメージカラーであるピンクを基調とした光のペールに、毎時30分には京都に息づく季節の感性の色彩豊かな「かさね色目」の光のペールに包まれる。古く平安の人々が、京都の四季の移ろいを絹衣の色を組み合わせで表現した「かさね色目」。日本・京都の四季を感じることができる色の組合せ。季節毎に季を纏う様、2週間ごとに変わる色彩表現により季節の移り変わりを感ずるシーンを作る。くすみのない京都らしい「はんなり」とした和の中間色で風にそよぐシルクのような動きを表現した。微妙なグラデーションの光彩がゆったりと揺らぎ、優しく柔らかいイメージをつくる。



## オフィス空調-Office air conditioning

ふく射と微風のハイブリッド空調を採用し、空調気流(ドラフト)による不快感などに敏感な女性への配慮をした。

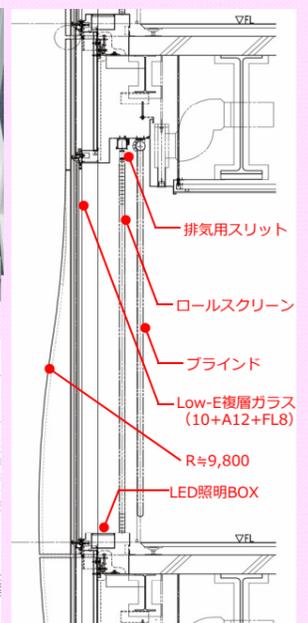
放射整流パネルからの風は0.5m/sと微風であり体に風を感じない。  
放射整流パネルの採用により、吹出温度を室温に近づけ、結露防止と快適な空間を実現した。  
また、オフィス空間におけるメンテナンス手間の頻度を削減している。



床面と床面+1.2mの温度差は約1℃と小さく  
気流も感じない

## 西日対策-Afternoon sun measures

Low-e複層ガラス(10+A12+FL8)のカーテンウォールの内側に高遮蔽ロールスクリーンと高遮蔽ブラインドをダブルで設けて、窓際の「暑い」「寒い」「眩しい」を解消。縦方向の隙間防止として、ロールスクリーンとブラインドをずらして設置。ロールスクリーンは膳板に密着、ブラインドは床面より高くした膳板の下におろし、下部の隙間からの熱流出を防止した。さらにカーテンウォール際に排気口を設け外装からの熱負荷の低減を行った。



## エントランス吹抜け空調- Entrance colonnade air conditioning

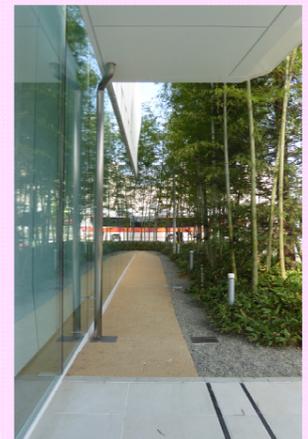
エントランスの大空間における空調は1階壁・家具等の中木、2階に通じる吹抜け階段壁の吹出口よりおこなっている。通常天井面に設置され、目立ちがちである吹出口を建築空間に組み込むことで一体的なデザインとした。



エントランス吹抜け部

## 京都らしさ-Quality of Kyoto

屋上に連続して設けた「庇」、道路沿いに植えられた「竹」、路地のような通路に敷かれた「三和土」などで街と建物をつなぎ、京都らしさを設えた。



## 太陽光発電設備-Photovoltaic power generation facilities

屋上の太陽光パネルより建物に電力を供給することで再生可能エネルギーの有効利用を図っている。また、モニターによる「現在の発電電力」「今日の発電量」「今年度の総発電量」を可視化することにより省エネに対する意識向上を図っている。



屋上太陽光パネル

## 評価表-Environmental & ME Design Evaluation Criteria

評価項目	特に重視したデザインの要否	評価項目に対する設計者のデザイン意識				評価項目	特に重視したデザインの要否	評価項目に対する設計者のデザイン意識			
		普通	優れている	卓越している	小計			普通	優れている	卓越している	小計
A. 感性軸 (造形) Form	01 審美性	☆			2	C. 社会軸 (環境) Environment	11 電気負荷	☆			2
	02 調和性	☆			2		12 資源消費				2
	03 独創性	☆			2		13 地域環境性				2
	04 象徴性	☆			2		14 LC-CO <sub>2</sub> 削減	☆			2
	05 完成度	☆			2		15 先導性				2
B. 機能軸 (技術) Technology	06 機能性	☆			2	16 CO <sub>2</sub> 削減				1	
	07 効率性	☆			2	17 エネルギーコスト				2	
	08 利便性	☆			2	18 維持管理				2	
	09 安全性	☆			2	19 耐久性				2	
	10 先導性	☆			2	20 LC-C				2	

